

隠岐魅力UP

目指せ！世界ジオパーク

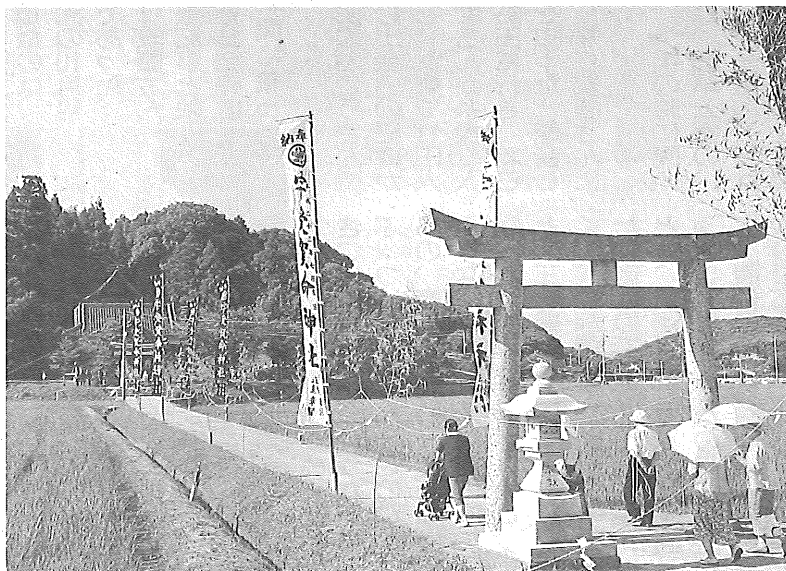
後鳥羽天皇をお祀りする
隠岐神社は観光スポットと
して有名ですが、海士町随
一の由緒正しい社といえ
ば、美しい田園風景の中
にたたずむ宇受賀命神社。

平安時代に編纂された神
社名簿「延喜式」で最高位
とされる名神大社で、県
内6社（出雲大社、熊野大
社、水若酢神社、伊勢命神
社、由良比女神社、宇受賀
命神社）のうちの1社です。
祀られている宇受賀命は
島を代表する土着の神様
で、ちょっと面白い伝説が
あります。

この海士（中ノ島）の宇
受賀命と、焼火山（西ノ島）
北麓の大山祇命が、宇賀
（西ノ島）の比奈麻治比賣
命を賭けて力比べをした
という話。

お互いに相手の島に向け
て巨石を投げあい飛距離を
争ったのですが、そこへ登
場するのが気まぐれな天の
邪鬼。大山祇命が岩を投げ
る時に袖を引っ張って邪魔
をし、投げた岩は中ノ島ま
で届かずに海へドボン。宇
受賀命が見事勝利し、比奈
麻治比賣命をゲットしまし
た。

国境を守る神様たち



美しい田園風景の中にある宇受賀命神社—著者撮影

西ノ島から海士へ嫁いだ
姫神様がお産をしたのが豊
田にある明屋海岸で、産屋
屋という地名がついたと
言われています。そこで生
まれた柳井姫は、同じく豊
田の奈伎良比賣神社に合祀
されています。

さて島前の地図を見ると、
比奈麻治比賣命神社（宇
賀）、宇受賀命神社（宇
賀）、奈伎良比賣神社（豊
田）の3社は、島前湾の北
端の入り口において見事に
直線状に鎮座しています。
実はこのことには大変重
要な意味があるのです。

宇受賀命神社の宮司であ
る村尾茂樹さんによると、
「宇受賀命神社は元々、湾
の入り口を見下ろす崖の上
にありました。ここ隠岐は
昔から、外敵の脅威にさら
される国境の島。三つの神
社が一直線に並んでいるこ
とは、大陸から日本を守る
という意味での隠岐の重要
性を示しています。神様た
ちは、伝説にあるように縁
戚関係を結び、御子を生ん
で、一族の御神徳によって
一緒に日本を守っていた。
そういう意味を読み取れる
のです」。

こういった背景から、宇
受賀命神社は、縁結びの神、
安産の神、そして領土・領
海防衛の神とも言われま
す。海士町へお越しの際に
は、隠岐神社とあわせてぜ
ひ宇受賀命神社へも足をお
運び下さい。また、「三位
一体」のお社を巡ってみる
のも趣深いのではないでし
ょうか。
（海士町役場総務課情報政
策係 岡本真里菜）